

上候

大正十年七月六日

後藤田正毅

其四

謹啓岡レ船造ル吾等カ友ニ告グ
務業ガ今日近ニ優思自重シタリ吾等ガナスヘキ角
ノ方法ト努力ハ已ニ已ニ尽キタリ今ハ唯々吾等ト
知レル所テ、充表ニ社會、公平ナル共論ニ御フル
リ術ナシ氣フ貴殿健全ナランコトヲ

大阪造船勞働組合第三支部印

某

殿

(但シ出勤職工各一通號)

會員土木請負業熊谷某(暴衣相天監造船所事務
課)時石原正一外一名ヲ代理人トシテ罷工團事務所
長上之時相假示部ニ至リ矣行參後藤田

正毅外三名ニ面接シ仲考ノ勞ヲ納ラムト申出タルニ付
シ罷工團ニ於テハ一般職工ニ快議、上本日回答ヲ爲ス旨ヲ
述ヘタルニ依リ會談一時間ニシテ辭去セリ
六本日罷工團事務所相快樂部ニ於テハ約四十名、職工集合
種々快議ヲ有シツアリ又前記熊谷、下午後三時西区
三軒家上之所料亭(大正八)ニ於テ実行委員後藤田ト会見
云附工側、意見見合せタル上工場主ニ面会シ兩者、當
幹旋入ト並ヘ令セタリ
右及申報候也